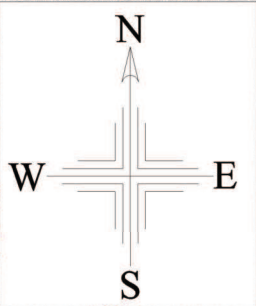


大和川水系 国管理河川及び県管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道（2/4）】

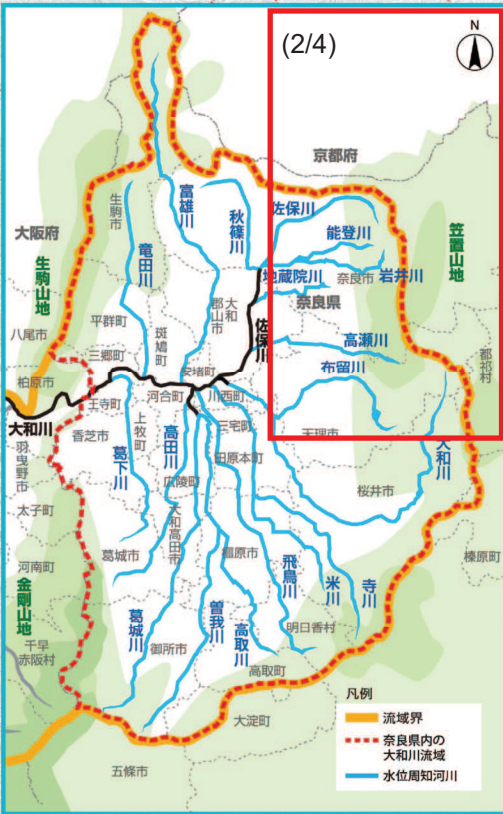
浸水が想定される範囲を表示



南山城村

- 1 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/200の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水発生)を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、現況の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10.0%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%)、年超過確率1/200(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/200(0.5%)の降雨に伴う洪水により対象区間が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、近年における土地利用の変化等を考慮し、実施しているため、各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- (4) 想定最大規模の浸水範囲は、国管理河川と県管理河川において水防法に基づき指定公表したものを重ね合わせて表示しているため、河道条件及び地形条件が異なります。

- 2 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和 年 月 日
- (2) 作成主体 奈良県県土マネジメント部河川整備課
- (3) 対象となる河川 奈良県内の国管理河川及び奈良県管理河川(実施区間) 図示
- (4) 算出の前提となる降雨 規模及び河川により異なる
- (5) 河道条件 現況
- (6) 関係市町村 奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、平群町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、高取町、明日香村、王寺町、広陵町、河合町、上牧町、大淀町、三郷町
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。



- 凡 例
- 浸水した場合に想定される範囲を表示
- 高頻度(1/10)
 - 中高頻度(1/30)
 - 中頻度(1/50)
 - 中低頻度(1/100)
 - 低頻度(1/200)
 - 想定最大規模
 - 市町村境界
 - 河川等範囲
 - 洪水浸水想定区域の対象となる区間(国)
 - 洪水浸水想定区域の対象となる区間(県)

1:75000

1000 0 1000 2000 3000m